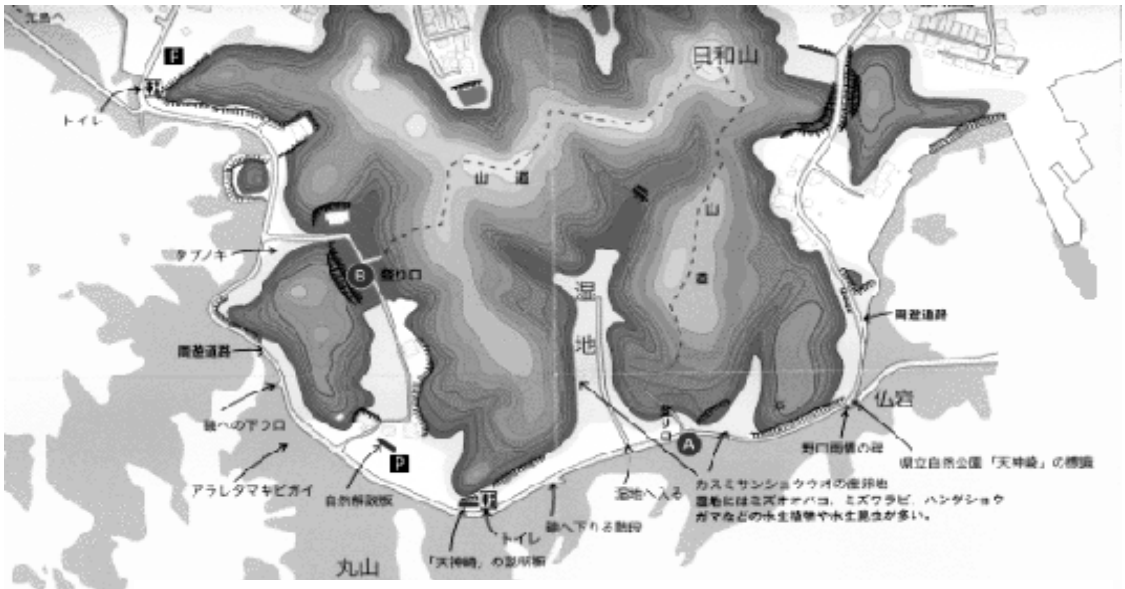
ネイチャーおおさか企画

天神崎エコツアー

平成 24 年 4 月 21 日(土) 雨天決行！(弁当付)

募集人数　先着 20 名　　小型バス利用（25 人乗）
参加費　7,000 円（協会員 6,000 円）
講師　玉井済夫さん他（公益財団法人　天神崎の自然を大切にする会業務執行理事）
協力　公益財団法人　天神崎の自然を大切にする会

天神崎は、紀伊半島の観光地で有名な白浜温泉の対岸にある田辺湾北側の岬で多くの海洋生物が数多く生息している世界的にも貴重なところです。　例えば、暖かい海の代表でもあるサンゴが約６０種類もあり、これは北緯３４度近くの海では、世界的にも異例の数です。1974 年に開発業者から土地を買い戻すナショナルトラスト運動を開始し、この自然環境を未来の子供たちに伝え残すことを願って末永く活動している、「天神崎の自然を大切にする会」の案内で、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録された天神崎の自然を見に行こう！



スケジュール（雨天の場合予定を変更することがあります）
8.30 集合（保全協会前からバス）→11.00 天神崎到着
磯観察、昼食、日和山（標高 35.5m）登山・南方熊楠顕彰館見学
16.00 田辺市出発→18.00～19.00 保全協会前着・解散

南方熊楠は和歌山市に生まれ、東大予備門中退後米英に遊学。帰国後の明治 37 年（1904）から田辺に住み、内外の学者と交流しつつ、生物学・人文科学等多方面にわたって研究を続け、在野の碩学として注目を集めた。　特に粘菌（変形菌）・菌類の研究、民俗学・宗教学に特異の足跡を記し、現在においてもなおそれぞれの分野に影響を及ぼし続けている。　また、自然保護の立場から神社合祀の政策に異議を唱え、反対運動を起こすなど書斎を離れた行動の人でもあった。

申込　社団法人大阪自然環境保全協会　担当：岡和田
TEL：06-6242-8720　　FAX06-6881-8103
旅行主催　株式会社Ａ－Ｚトラベルサービス